

第1回森吉山ダム水源地域ビジョン策定委員会 開催のお知らせ

本委員会は、別紙の設立趣意（案）に示すように、森吉山ダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等の地域資源を活用し、水源地域の自立的・持続的な活性化を図るため、「森吉山ダム水源地域ビジョン」を策定することを目的としております。

第1回目は委員会の設立を主として、下記のとおり開催します。

1. 開催日時 平成22年3月16日（火） 13:30～15:30
2. 開催場所 森吉コミュニティセンター 大ホール
（北秋田市米内沢）
3. 委員会名 森吉山ダム水源地域ビジョン策定委員会
（設置者：東北地方整備局長）
4. 設立趣意他 設立趣意書、委員名簿（案） （別紙）

なお、委員会の議事の公開については、冒頭で委員会の承認を得た後といたします。

問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所
技術副所長 菊地 厚（内線204）
調査・品質確保課長 船木 純孝（内線351）
電話 0186-72-3015

森吉山ダム水源地域ビジョン策定委員会（仮）

設立趣意書

森吉山ダムは、昭和47年の大洪水を契機としてダム建設のための準備がはじまり、平成14年からダム本体工事に着手して平成23年の完成を目指し、現在工事の最終段階にはいっております。

ダムは、治水（洪水調節）・利水（都市・農業用水の供給、発電など）の役割を担い、国土保全、国民生活の安定、産業経済の発展に役立ってきましたが、ダムの水源地域である中山間地域では人口の減少や産業の低迷など地域の活力の低下が懸念されています。このため、国土交通省ではダムを活かして水源地域の自立、持続的な活性化を図り、水環境等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や伝統的な歴史・文化資源を活用し、上下流の連携・交流に基づく流域内のバランスのとれた発展を図るため、水源地域ビジョンを策定することとしております。

森吉山ダムの立地する北秋田市は平成17年3月に4町が合併・発足し、水源地域としてさらなる連携・交流の進展が望まれています。また、平成18年3月に策定された「北秋田市総合計画」並びに平成19年3月に策定された「北秋田市マスタープラン」には、森吉山ダム周辺地域は、豊富な自然や歴史、観光資源を持ち、森吉山ダムの完成により地域振興や観光振興の拠点となることが期待されています。

また、平成18年3月には、有識者・各分野の専門家及び関係行政機関による「癒しの森吉湖畔づくり委員会」において、森吉山ダム貯水池の周辺利用計画について利用方針（案）がとりまとめられ、平成21年10月には「森吉山ダム水源地域活性化懇談会」で活性化に向けた活動・行動をとりまとめております。

これらを受けて、水源地域の自立的・持続的な活性化のための行動計画である「森吉山ダム水源地域ビジョン」を策定するものです。そのため、地域住民の方々、有識者、及び関係行政機関等による「森吉山ダム水源地域ビジョン策定委員会（仮）」を設立するものです。

森吉山ダム水源地域ビジョン策定委員会（仮称）の委員（案）

（1）委員選定（案）

- 1) 学識者 木村 一裕：秋田大学工学資源学部 土木環境工学科 教授
- 2) 交通観光 佐藤 廣道：秋田内陸縦貫鉄道株式会社 代表取締役専務
藤本 忠：北秋田市観光協会 会長
松橋 重智：マタギの里観光開発株式会社 課長
- 3) 産業 伊藤 公夫：北秋田市商工会 会長
- 4) 内水面 松橋 憲作：阿仁川漁業協同組合 代表理事組合長
- 5) 地域活動 山本 美穂：北秋田名物㈱ 営業部長
加藤 寿：NPO森吉山ネイチャー協会 理事長
松岡 忠義：元森吉山の自然を守る会会長
現 NPO 森吉山ネイチャー協会会員
三浦 清成：根森田自治会 会長
- 6) 行政 津谷 永光：北秋田市 市長
長岐 哲行：秋田県北秋田地域振興局 局長
田上 澄雄：東北地方整備局 河川部長
佐藤 清：森吉山ダム工事事務所 所長

計 14名